

2025

SUPER GT
RACE REPORT

Rd.6

9.20[sat] - 21[sun]

[place] スポーツランドSUGO (宮城県村田町)

[weather] sat 雨のち曇り / sun 曇り時々晴れ

[spectators] 26,900人 (sat 9,700人 / sun 17,200人)

SUGO

Sportsland



Rd.1	OKAYAMA >>>>	APR 12-13
Rd.2	FUJI >>>>>>>>	MAY 03-04
Rd.3	SEPANG >>>>>>	JUN 27-28
Rd.4	FUJI >>>>>>>>	AUG 02-03
Rd.5	SUZUKA >>>>>>	AUG 23-24
Rd.6	SUGO >>>>>>>>	SEP 20-21
Rd.7	AUTOPOLIS >>>	OCT 18-19
Rd.8	MOTEGI >>>>>>	NOV 01-02

TOM'S

決勝で苦しい展開を強いられるも、
意地の走りで9位入賞!!
3連覇に向け、貴重な2ポイントを獲得。



2025 AUTOBACS SUPER GT Round6 SUGO GT300km RACE が、9月20日(土)、21日(日)にスポーツランドSUGOで行われた。#1 au TOM'S GR Supra(坪井翔/山下健太)は、今回も100kgのサクセスウェイトをしいられるなか善戦し、予選では4番グリッドを獲得。決勝では接触によるクルマへのダメージも影響して順位を下げたが、レース終盤にチャンピオンの意地をみせる走りで2台をオーバーテイク。9位入賞を果たした。



1

TGR TEAM au TOM'S



SHO TSUBOI 坪井 翔

KENTA YAMASHITA 山下 健太

Rd.6 Result

Qualifying 4 位 >> Driver Standings 1 位
Race 9 位 Team Standings 1 位

Qualifying 1 坪井 : P7 / 1'10.027

Qualifying 2 山下 : P4 / 1'09.692

Race 坪井 : 1'13.931
ファステストラップタイム 山下 : 1'12.722

QUALIFYING

天候：曇り／気温：20℃／路面温度：26℃



不安定な天候のなか、 サクセスウェイト100kgの ハンディキャップをはねのけ 4番グリッドを獲得!!!

Round6の舞台となるスポーツランド SUGOは、路面の再舗装が行われたほか、縁石も数箇所が新しくなっており、未知の対応も求められる戦いとなった。20日（土）の公式練習は、直前まで降った雨の影響によりウェットコンディションでセッションが始まった。このままの状態が続くかと思われたが、思いのほか早く天候が回復したことで、途中から各車がドライタイヤを装着して、予選に向けた準備が進められた。

前戦に続きサクセスウェイトの上限である100kgを背負う1号車は、周囲の予想を一蹴する走りを披露。予選Q1では坪井が7番手通過を果たすと、続くQ2では山下がトップから0.570秒差につける1分10秒692を記録し、4番グリッドを手にした。サクセスウェイトと燃料リストラクターの影響で、ストレートスピードは他車に劣るが、コーナーでタイムを稼ぎ、上位グリッドから決勝に臨む。

Race

天候：晴れ／気温：24℃／路面温度：32℃

赤旗中断の波乱を乗り越え、 意地の走りで9位フィニッシュ。 貴重な2ポイントを獲得!!!

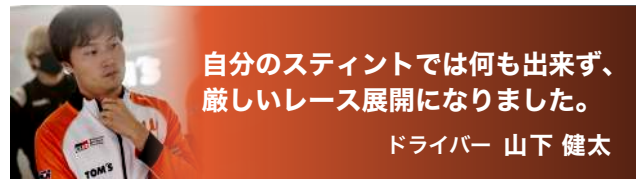


4番グリッドからスタートした1号車は、山下が前半スティントを担当した。SUGOは追い抜きが難しいコースであることに加えて、サクセスウェイト100kgが影響し苦しい展開に。さらに他車とポジションを争っている最中に軽い接触があり車両のバランスが崩れた。ペースの維持がより難しくなり、9番手まで後退。28周目にピットインし坪井が乗り込んだが、48周目に複数台が絡むアクシデントが発生し、1時間に渡りレースが中断された。最大延長時間の関係上、残り時間30分弱とされ、12番手からの再スタートとなった。苦しい状況のなか、坪井はチャンピオンの意地をみせるべく猛追。ついに残り2周で10番手に浮上し、チェッカーを受けた。レース後、上位の1台にペナルティが科されたことで、正式結果では9位入賞。正念場となった今回も、しっかりポイントを獲得した。

TOM'S



サクセスウェイトを考えると予選Q1を突破できると思っていなかったですし、山下選手の攻撃も素晴らしくて、最終的に4番手を獲得することができました。決勝では、最初のスティントからタイヤが苦しいなか耐えてくれた山下選手のためにも、何とかしたいと思ったのですが、交代してからの序盤でGT300のトラフィックをうまく処理できずライバルに抜かれました。最後は意地でもポイントを獲得したいと思って、2台を追い抜くことができたのは良かったです。



決勝は厳しいレースでした。特に自分のスティントでは何も出来なかったです。レースが始まって3周目くらいから「まずいな」という状況になり、どんどんパフォーマンスが落ちていきました。本当はそこまで争うつもりはなかったのですが、他車と接触があって、クルマにダメージを負いました。そこは申し訳なかったです。でも、坪井選手が粘ってポイントを獲得してくれたのでありがたかったです。



予選は、みんなが良いクルマを作ってくれましたし、ドライバーもそれを存分に発揮してくれて4番手を獲得できました。決勝に関してはうまくペースが上がらない状況でしたし、途中で接触もあってクルマにも少し問題を抱えながらの走行になりました。その影響で、余計に苦しいレースになったかと思いますが、2人とも耐えてくれて、最終的にライバルを抜いてポイント圏内でゴールできました。ポイント差は縮まりましたが、我々が有利なことには変わりありません。



今回もサクセスウェイトが100kgだったので、ドライバーの2人も乗っていてストレスを感じていたと思います。予選一発のタイムは出たとしても、重量が重くなるとタイヤへの負担も大きくなるので、特にロングランは厳しくなります。その中でもチームみんなが頑張って、よくポイントを獲得してくれたと思います。次のオートポリスではウェイトが半分になるので、楽しみです。

次戦もたくさんの応援をよろしくお願いいたします。

aw

KDDI

アヲキヨ

ZENT

GR TOYOTA GAZOO Racing

TGR-DC TGR Driver Challenge Program

TGR-D

BRIDGESTONE

Entowa's NUSH

DRY ZERO 0.00%

Y-Chiu Group

バンテリン

広島トヨペット

Deloitte.

MASEKI GEINOSHA

Achilles

TAMIYA

GREX

豊通テック

Valvoline

uchino

bryza

HR HITECH DESIGN

EDIFICE CASIO

P&S

Miyazaki

JAPAN TRUCK SHOW 2026

LHG

BRIDE

FUKADEN

S&D TAMA GROUP

HRX

PORTS.CO.JP

ThreeBond

Mizuno

ENKEI

both.

KVA

MECHANIC WEAR